

NEWS LETTER



開催概要

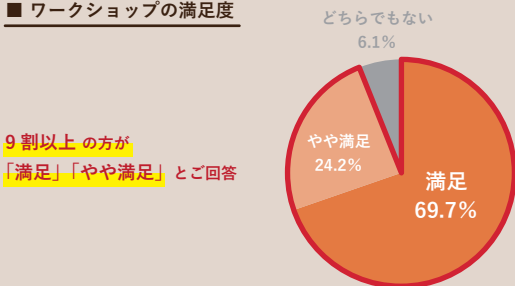
- ・日 時：2023年9月25日（月）
第1部 09：30～12：00
第2部 19：00～21：30
- ・場 所：第1部 池田市中央公民館2階会議室A・B
第2部 池田市役所7階大会議室
- ・参加人数：第1部 11人
第2部 23人

プログラム

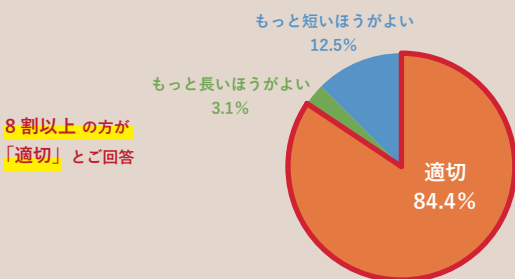
1. 開会の挨拶
2. 駅周辺整備計画の紹介・ワークショップの進め方
3. ディスカッション
 - ① グループ内で自己紹介！
 - ② コミセン跡地周辺の課題を考えよう！
 - ③ コミセン跡地のオープンスペースで「したいコト」や「ほしいモノ」を考えよう！
 - ④ ポケットパークと倉庫跡地で「したいコト」や「ほしいモノ」を考えよう！
4. 各チームの成果発表
5. 総括コメント
6. 今後の予定・アンケート記入
7. 閉会の挨拶

アンケート結果

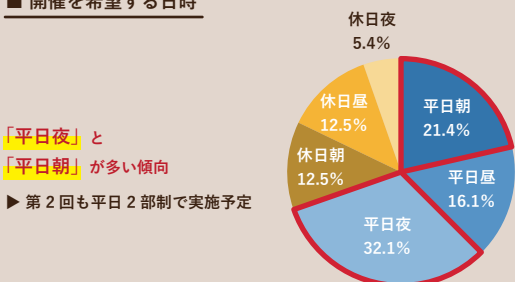
■ ワークショップの満足度



■ ワークショップの長さ（150分）が適切かどうか



■ 開催を希望する日時



検討範囲

1 : 2000

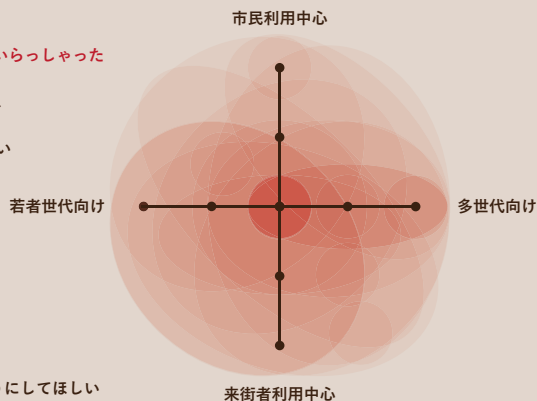


■ コミセン跡地周辺の利活用イメージ（あてはまる位置に丸を付けていただく形式）

「全部」とご回答いただいた方が8名、
「中心に丸」を付けていただいた方が6名 いらっしゃった

▶ あるターゲット層に特化するのではなく、
市民や来街者、若者や多世代が幅広く
利用できる機能を導入することが望ましい

【自由記述からのご意見抜粋】
地域向けの公益性と、来街者向けの
貸出のバランスを取ってほしい
コミセンとポケットパークの往来で、
市民⇄来街者、若者⇄多世代の交流が
生まれると面白い
最初からかつりとしたコンセプトを
決めずに、8割くらい作ってから、
2割を市民やその他に作ってもらえるようにしてほしい



※ 濃い色の部分が選択の多かったエリア
※ 「全部」とご回答いただいた方は中心位置にプロット

ワークショップの成果

コミセン跡地周辺の課題の整理

休息空間や滞留空間が不足している

買い物場所がない

ゆっくりとどまれる場所がない

ベンチや木陰がない

集まる場所がない

歩き疲れたときの休息場所がない

気軽に立ち寄れる店がない

徒歩でアクセスしづらい

五月山までの徒歩でのアクセスを諦めてしまう

坂を上るのが結構しんどい

歩道が狭い

車両の交通量が多い

周辺施設との連携や回遊性が乏しい

駅前にぎわいが届いていない

駅前から五月山へのストーリーがない

縦と横のストリートの交わる場所のコンセプトがない

カップヌードルミュージアムからの回遊性がない

情報発信をうまくできていない

祭りをもっとアピールするべき

歴史や伝統を伝えるプログラムがない

宣伝やサインが不十分

活気がない

人通りが少ない

商業的な活気が不足している

なんとなく雰囲気が暗い

その他のご意見

五月山が見えない

日曜日に開いている店が少ない

地域の中心になるランドマークが欠如している

使いやすいバリアフリートイレがない

目的になる施設がない

「したいコト」「ほしいモノ」のまとめ（各グループの発表内容）

第1部

■ 1-A グループ

- ・駅から五月山までのストーリー性がないという課題があるなかで、コミセン跡地周辺を「ハブ」として活用するのはどうか。「『ついで』を誘う仕掛け」を設けて、『ついで』に商店街に行ったり、『ついで』に観光をしたり、いろいろな人がいろんなことをできる場所になるとよい。
- ・営利/非営利を問わず、誰もがレンタルできる広場として、利用者が自由度を持ってストーリーを設定できるとよい。そのためには、トイレや屋根、Wi-Fi等の最低限のインフラは整備してほしい。

■ 1-B グループ

- ・子育て世代が使いやすい場所になるとよい。おもむき替えをできたり、離乳食を食べられたり、水遊びをできたりする場所がほしい。
- ・24時間365日でニーズが変わるので、いろんな使い方ができると思う。休日は観光客やハイカー、平日は学生や子育て世代の利用が見込まれる。また、朝は子ども連れのお母さん、昼はランチ利用、夕方は学生の自習スペース、夜は若いカップルの語らいの場所になることも考えられる。
- ・モビリティハブとしての機能があるとよい。ウォンパットラッピングのバスを周遊させたり、電動自転車や電動キックボードの新しいハブを設けたりするなど、少しでもアクセスしやすくなるとよい。

第2部

■ 2-A グループ

- ・商店街と連携した集客スポットがあるとよい。池田のグッズやショップ、キッチンカーや屋台が出てくるとよいという話も出ていた。
- ・五月山まで行く人が商店街の野菜を使ったお弁当を購入して、帰りに商店街を通ってもらうなど、池田にお金を落としてもらうような工夫ができるとよい。

■ 2-B グループ

- ・コミセン跡地と倉庫跡地は、別々の性格を持たせてはどうか。コミセン跡地は観光客向け、倉庫跡地は市民向けで活用するべきだという意見が出ていた。
- ・コミセン跡地は、旅行者向けのモビリティレンタル拠点を設置することで、五月山にアクセスしてもらいやすくしてはどうか。商店街とも連携して、行きと帰りでルートを変えてまちを周遊できるようになるとよい。また、池田の歴史や日本酒等の地域性のあるものを発信できるとよい。
- ・ポケットパークと倉庫跡地は、地域の子どもや高齢者が憩える場所になるとよい。屋根やキッチンカー、親水公園を整備してはどうか。

■ 2-C グループ

- ・人が集まれる場所、面白い人に出会える場所、人と繋がれる場所になるとよい。何もない場所かもしれないが、周りには魅力があるので、そこに案内できる人が集まる場所になるとよい。歴史や自然の拠点が徒歩圏内にあるので、ここをスタート地点としてまちあるきを実施するなど、いろいろな体験ができる中継基地になるとよい。
- ・地域の倉庫がほしい。地域活動をするのに倉庫が必要である。

■ 2-D グループ

- ・商店街やさくら通りから寄りやすいポイントであるので、来街者が周遊できる工夫ができるとよい。例えば、五月山動物園まではウォンパットの足跡、カップヌードルミュージアムまではヒヨコの足跡を、歩道に設置してはどうか。
- ・倉庫跡地には案内所やカフェを設置し、コミセン跡地にはキッチンカーが来るようなイメージで、そのためには、電源や上下水道、Wi-Fi等の設備が必要である。そうすることで災害時にも使える広場になる。

お問い合わせ先

メール sakaehonmachi.workshop@gmail.com | (株)日建設計

電話 072-754-6275 | 池田市 まちづくり環境部 都市政策課 (平日 8:45 ~ 17:15)